

# <日本史探究④②> 鎌倉時代⑤ 教科書: P.104~P.109

## ① 鎌倉文化の建築と彫刻

① 寺院建築では、大陸から新しい様式が伝わった。1180年におこった平重衡へいらしげみらの南都焼打ちで焼失した東大寺の再建にあたり、<1. >は、(2. )として復興資金を広く寄付に仰いで各地をまわり、宋の技術者である<3. >を登用し、(4. )を導入した。(5. )が代表例である。

(1) 東大寺再建のときに用いられた建築様式は? ( )

② ついで、(6. )【 (7. )】が伝えられた。花頭窓かとうまどなどを取り入れた精巧な様式で、(8. )などが有名である。また、大陸伝来の新様式と平安時代以来の日本の様式である(9. )を合わせた(10. )も盛んになった。8の代表例が(11. )と呼ばれる(12. )(京都府)で、9の代表例が(13. )(大阪府)である。

(1) 宋から導入された、整然とした美しさを示す様式を? ( )

③ 仏像彫刻では、興福寺・東大寺の復興にあたり、<14. >・湛慶たんけい父子や13の父の弟子の<15. >らの奈良仏師が活躍した。奈良時代以来の写実性を受け継ぎつつ、新しい時代の精神を生かした素朴で力強い作風が特徴である。

(1) 東大寺・興福寺の復興事業に活躍した代表的な仏師とその父の弟子の名をそれぞれ答えよう。( )・( )

④ (5)の(16. )は鎌倉時代の代表的彫刻で(17)・(18)などの合作である。他にも、(19)の代表作には(20. )の(21. )がある。同じ18には(17)の子のこへん康弁作の(22. )もある。また同じく(17)の子の(23. )作の(24. )も鎌倉時代の作品である。

(1) 運慶とその弟子らの合作になる、東大寺南大門にある像を? ( )

## 2 鎌倉仏教

① 仏教では、それまでの<sup>ま とつ</sup>祈禱や学問中心のものから、民衆救済を目的とする6つの新仏教がおこった。開祖の6人を生年順に並べると、<23. > → <24. > → <25. > → <26. > → <27. > → <28. >となる。

② <23. >は、天台の<sup>ま とつ</sup>教学を学び、源平争乱の頃、(29. ) [30. ]をとなえれば、死後は平等に<sup>ごくらく</sup>極楽浄土に<sup>わんじやう</sup>往生できるという(31. )の教えを説いて、のちに(32. )の開祖と仰がれた。この宗派の総本山は(33. )で、関白<34. >の求めに応じて『35. 』を著した。

- (1) 1175年に京都でひたすら念仏をとなえることで救われると説き、新しい宗派を開いたのはだれ? ( )
- (2) (1)が開いた新しい宗派を何という? ( )

③ 23の弟子である<25. >は、(36. )の開祖と呼ばれた。<sup>げんのお</sup>煩惱の深い人間[<sup>おんじん</sup>愚人]こそが阿弥陀仏の救いの対象であるという(37. )を説いた。この教えは弟子の<38. >が著した『39. 』に記されている。なお、25の主著は『40. 』で、36は、京都に(41. )を開き、宗派の中心とした。

- (1) 法然の弟子で、絶対他力をとなえ、人々はすべて阿弥陀仏の救いを信じてすべければ、極楽往生が約束されると説いた人物は? ( )
- (2) (1)を開祖とする宗派名は? ( )
- (3) 煩惱の深い人間こそが阿弥陀仏の救済の対象である、という(1)の思想を何という? ( )

④ 同じ浄土教系の<28. >は、善人・悪人や<sup>しんしん</sup>信心の有無を問わずすべての人が救われるという念仏の教えを説き、念仏札を配り、(42. )によって多くの人々に教えを広めながら各地を布教して歩いた[43. ]。その教えは(44. )と呼ばれ、(45. )が総本山で、その様子は<sup>あや</sup>阿伊が描いた『46. 』にみえる。

- (1) 鎌倉時代中期、各地を遊行し、念仏によりすべての人が救われると説いた僧侶はだれか? ( )
- (2) (1)を開祖とする宗派名は? ( )
- (3) (1)が行った独自の布教形態は? ( )
- (4) (1)の生涯を描いたもので、写実的手法で自然や庶民生活が描かれているものは? ( )

⑤はじめ(47. )宗を学んだ<27. >は(48. )<sup>きょう</sup>経が仏法の正しい教えであることを悟り、『49. 』を唱えることにより救われると説いた。この宗派を(51. ) [= ]といひ、(52. )が総本山。27は、他の宗派を激しく攻撃しながら布教を進め、1260年には、『53. 』を著して(54. )に献上し、国難を招くと予言したため、伊豆、後に佐渡に流された。

- (1)鎌倉時代中期に、法華経を仏法の正しい教えであることを悟り、他宗を強く攻撃した人物は？ ( )
- (2)(1)が開いた宗派名を？ ( )
- (3)(2)で最も大切にされ、唱えることで信仰を表すことばを漢字2字で？ ( )
- (4)(3)を漢字7字で表すと？ ( )

⑥<sup>ざんぜん</sup>坐禅によって自らを鍛練し、自力で成仏に至ろうとする(55. )は、12c末に、2度宋に渡った天台の僧<24. >によって日本に伝えられた。公家や幕府有力者の<sup>きよえ</sup>帰依を受けて、のちに(56. )の開祖と仰がれた。56は、師から与えられる(57. )を1つ1つ解決して悟りに近づく宗派で、(58. )が中心寺院。

- (1)中国から伝来した、坐禅により悟りを開く自力中心の仏教宗派を？ ( )
- (2)12c末に、2度宋に渡って(1)を日本に伝えた天台の僧は？ ( )
- (3)(2)が宋から伝えた(1)の宗派を？ ( )
- (4)1202年、源頼家の援助で(2)が創建した、(3)の中心寺院は？ ( )

⑦1198年、24は旧仏教側の55非難に対し、『59. 』を著して55の本質を説いた。また、121年には、『60. 』を著して茶の効能を説き病の<61. >に献上した。一方で同じ禅僧の<26. >は、ひたすら坐禅することで悟りに至る(62. )を説き、(63. )を広めた。26の主著である『64. 』は63の根本原典で、大本山は福井県の(65. )である。

- (1)1223年に入宋して、日本に本格的な坐禅中心の仏教を伝えた僧は？ ( )
- (2)(1)が宋から伝えた禅宗の宗派は？ ( )
- (3)(2)の大本山で、越前に(1)が創建した寺院は？ ( )

⑧幕府は(66. )を重んじ、宋から多くの禅僧を招いた。宋から来日した禅僧に<67. >の帰依を受けて(68. )を開いた<69. >や、<70. >の帰依を受けて(71. )を開いた<72. >がいる。

- (1)1246年に来日した蘭溪道隆が、鎌倉に開いた寺院は？ ( )
- (2)1279年に来日した無学祖元が、82年に鎌倉に開いた寺院は？ ( )

### 3 旧仏教と神道

①旧仏教側も、このような新仏教に刺激されて、改革をおこなった。

宗派	僧	拠点	やったこと
法相宗	<73.>	(74.)寺	「興福寺奏状」で法然を批判
華嚴宗	<75.>	(76.)寺	『77.』を著し、法然を批判
律宗	<78.>	(79.)寺	戒律の復興と民衆化につとめる
	<80.>	(81.)寺	奈良に(82.)を建てる ↑病人救済施設 (ハンセン病患者の)
	<83.>	(84.)寺	

- (1) 法相宗の僧侶で、専修念仏を批判して旧仏教の復興につとめたのは？ ( )
- (2) 高山寺を復興し、『摧邪輪』を著して、華嚴宗の復興につとめたのは？ ( )
- (3) 西大寺を中心に戒律の復興と民衆化につとめた律宗の僧は？ ( )
- (4) (3)の弟子で、病人の治療などの慈善事業に尽力した僧は？ ( )

② また神仏習合の考えが広まるとともに、鎌倉時代末期になると、伊勢神宮の外宮神宮<85.>が「神こそが本体であり、仏はその仮の姿である」とする(86.)をととえ、(87.)をおこした。『88.』を著し、後世の神道に大きな影響を与えた。

### 4 鎌倉文化の絵画・書道・工芸

① 鎌倉時代には(89.)と呼ばれる肖像画が描かれ、<90.>・<91.>父子の名手が出た。90の作と言われているのは京都神護寺蔵の「92.」と「伝平重盛像」である。91の作としては「93.」が代表的である。また、同じ肖像画でも禅宗の師僧の肖像画は(94.)という。

- (1) 鎌倉時代に発達した大和絵の肖像画のことを？ ( )
- (2) 禅宗で、師が一人前になった弟子に与えた、自身の肖像画のことを？ ( )

② 書道では、<95.>が、宋や元から伝えられた書風を取り入れ、(96.)を創始した。工芸では甲冑の名工の明珍や、刀剣では京都の<97.>、相模の<98.>、備前の<99.>らが活躍した。また、道元とともに入宋して製陶法を学んだとされる<100.>は尾張の(101.)の開祖といわれる。

## 5 鎌倉時代の絵巻物

① 鎌倉時代には、平安時代末期に始まった絵巻物が全盛期を迎えた。代表的な絵巻物に、肥後の御家人<102. >が元寇での武功を子孫に伝えるために描かせた『103. 』、宮廷の絵師である<104. >が制作した、藤原氏の氏神の靈験譚の『105. 』、菅原道真の生涯と、没後に神として祀られるに至る経緯を描いた『106. 』がある。

② 他にも、近江国の寺院の縁起を描いた『107. 』や武蔵国の地方武士の生活を描いた『108. 』などがある。

## 6 鎌倉時代の文学・学問

① 鳥羽上皇の北面の武士であった<109. >は、出家して各地を遍歴し『110. 』という歌集を残した。1205年には、<111. >上皇の命で『112. 』が編纂され、編者の<113. >・<114. >らが示した歌風は、(111)上皇を中心とする貴族たちに広く受け入れられた。上皇の影響を受けて将軍<115. >も歌に励み、万葉調の歌を詠んで『116. 』を残した。

(1) 後鳥羽上皇の命で編纂された勅撰和歌集は？ ( )

② 日記では、113の『117. 』や、九条兼実が残した源平争乱期の基本史料となる『118. 』、所領訴訟のために鎌倉に下ったときのことを<119. >が記した『120. 』がある。随筆としては、初期に<121. >が人生の無常を嘆いた『122. 』と末期に<123. >が著した『124. 』がある。

③ この時代の文学で、もっとも特色があるのは軍記物で、なかでも平氏の興亡を主題とした『125. 』は、盲目の<126. >によって(127. )として語られ、各地の人々にも広く親しまれた。歴史書では、九条兼実の弟で(128. )となった<129. >が著した『130. 』がある。これは、貴族の衰退と武家政権の出現の歴史を(131. )という理念で捉えた。

(1) 平家の興亡を記した、軍記物語は？ ( )

(2) 天台座主[天台宗の最高位]をつとめ、歴史や政治を深く考察した僧は？ ( )

(3) (2)が独自の史観に基づいて著した歴史書は？ ( )

④『132.』は、鎌倉幕府の記録を編年体で著したもので、鎌倉幕府の公式記録を表し、日本初の本格的な仏教史である『133.』は、1322年に<134. >が著した。また、『大鏡』に続いて、『135.』『136.』が書かれた。

(1) 1180年の源頼政の挙兵から1266年の宗尊親王の帰京までの諸事件を、編年体に記した鎌倉幕府の記録を? ( )

⑤ 説話文学では、1254年に<137. >の撰で『138.』が成立し、1283年に、<139. >が『140.』を著した。

⑥ 学問では、公家のあいだで、朝廷の儀式・先例を研究する(141. )の学が盛んになり、<142. >天皇が『143.』という141の書を著した。また、宋の朱熹が大成した儒学の1つである宋学 [= 144. ]が末期に伝えられた。そのうちの、君臣・父子の別をわきまえ、上下の秩序や礼節を重んじる(145. )が後醍醐天皇の討幕運動の理論的根拠となった。

(1) 南宋の朱熹が大成し、鎌倉時代に日本に伝来した儒学は? ( )

⑦ 北条氏一門の<146. >が武蔵国に(147. )を設け、和漢の書物を集めて学問に励んだ。147は鎌倉の六浦むつらに建てられ、146の子・孫に受け継がれた。幕府滅亡後は(148. )が経営にあたった。